

豪快! 背負い投げ!

カブト虫相撲大会

7月21日(日)、町総合体育館において『第25回カブト虫相撲大会』が開催されました。

県内外から過去最多となる660人の子どもたちが参加し、自慢のカブト虫が熱戦を繰り広げました。

この大会は、子どもたちに自然の大切さを知ってもらおうと社会福祉法人愛生会が主催したもので、今年で25回目を迎えました。

競技は、クヌギの丸太(直径20cm)の上で勝負する『相撲の部』、いかに早く走るかを競う『競歩の部』、1本の綱の上を渡りきる速さを競う『綱渡りの部』、カブト虫にミニカーを引かせる『力くらべの部』で勝負が展開されました。

メイン種目となる『相撲の部』では、勝ち進むにつれ、角を相手の頭の下に入れて豪快に投げる『背負い投げ』などの大技が増え、参加者や見物客から歓声が沸き起こっていました。

